

西南戦争と言論の目覚め

明治六年の政変後、辞職した人々は、武力あるいは言論で政府批判を試みた。武力での反抗として、特権を剥奪された士族の反乱が激しさを増した。言論での反抗として、民衆参加の政治を求める自由民権運動が始まった。西南戦争が鎮圧されると、武力の限界性が明白となり、不平士族は自由民権運動へと合流していった。

○武力に訴える反抗

●不満緩和の失敗

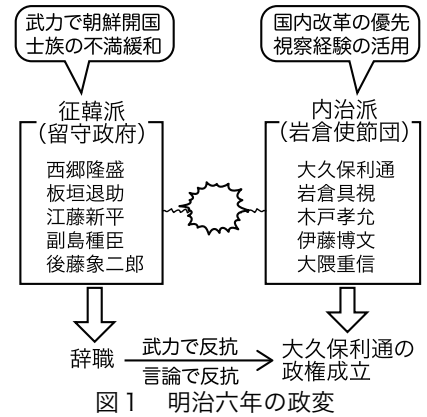
士族の中には、新政府の政策に不満を抱く者（不平士族）も多かった。
⇒朝鮮との国交を武力で開こうとする主張⁽¹⁾ _____ には、
不平士族の不満を国外にそらす目的もあった。

1873年、⁽²⁾ _____

…(1)の否決で、西郷隆盛・板垣退助・江藤新平・後藤象二郎らが、
一斉に辞職して新政府から去った事件

⇒以降、辞職した人々は、武力や言論で新政府に反抗していった。

◇(2) …事件後、新政府の指導者となったのは大久保利通



●士族の没落と武力の行使

1874年、⁽³⁾ _____

…征韓論を主張する団体が、⁽⁴⁾ _____ を首領として擁した反乱

1876年、新政府は次の取り組みで、士族の没落と不満の増加を招いた。

①⁽⁵⁾ _____
…軍人・警官以外の帯刀を禁止した法令

②⁽⁶⁾ _____
…秩禄^{ちつろく}の受給者に金禄公債証書を与え、秩禄を処分した政策

1876年、不平士族の反乱が、次々に呼応して起きた。

①⁽⁷⁾ _____ (敬神党の乱)
…不平士族が、熊本県で⁽⁸⁾ _____ (敬神党)を組織し、
廃刀令発布に憤慨して起こした反乱

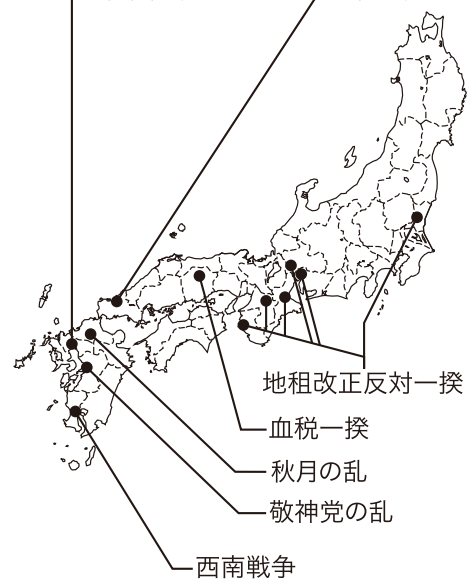
②秋月の乱

…不平士族が福岡県で起こした反乱

③⁽⁹⁾ _____
…⁽¹⁰⁾ _____ が、不平士族率いて山口県で起こした反乱



図2 江藤新平 佐賀の乱 図3 前原一誠 萩の乱



●士族の反乱の限界

1877年、⁽¹¹⁾ _____

…不平士族が、⁽¹²⁾ _____ を首領として擁し、起こした最大の反乱
…徴兵制の軍隊の力が鎮圧で実証され、また、武力に訴える反抗が終息

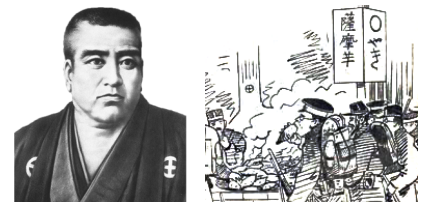


図4 西郷隆盛 図5 縁起かつぎ

○ 言論に訴える反抗

● 自由民権運動の始まり

1874年、板垣退助・後藤象二郎らが、政治的な集まり**愛国公党**を結成した。



1874年、⁽¹³⁾ _____ 提出

…板垣・後藤らが、新政府の少数有力者による政治「**有司専制**」を批判し、世間の人々の意見「**公論**」に基づく政治実現のために、国会の開設を求めた文書
…主張の根拠は、五箇条の誓文の第1条「**万機公論ニ決スヘシ**」

⇒愛国公党は、建白書提出という目的を遂げて解散した。

⇒英人ブラックが創刊した新聞『⁽¹⁴⁾ _____』に、(13)が掲載された後、民衆参加の政治を新政府に求める⁽¹⁵⁾ _____が盛んになった。



1874年、⁽¹⁶⁾ _____ は郷里の土佐で**片岡健吉**ら同志を集め、(15)を進める政治結社(政社)⁽¹⁷⁾ _____を組織した。

⇒1875年、(17)を母体に、(15)を全国的に進める⁽¹⁸⁾ _____が大阪で組織された。



図6 『日新真事誌』



図7 1月18日の記事
*枠内に愛国公党の連名

● 立憲政治導入の約束

1875年、⁽¹⁹⁾ _____

…新政府の指導者⁽²⁰⁾ _____、台湾出兵に反対して辞職した⁽²¹⁾ _____、そして⁽²²⁾ _____、以上3人が大阪でおこなった秘密の会談

…時間をかけた国会開設が約束され、結果、(21)(22)の2人が新政府に復帰



図8 大久保利通



1875年、⁽²³⁾ _____

…「漸次ニ国家立憲ノ政体ヲ立テ」ることを示した詔

…立法諮問機関⁽²⁴⁾ _____と最高裁判所に相当する機関⁽²⁵⁾ _____を設置、府知事・県令からなる会議⁽²⁶⁾ _____(第1回)を開催



図9 木戸孝允



1876年、(24)が憲法草案の起草に着手し始めた。

⇒数次の案を経て、1880年に「日本国憲案」が完成したが、岩倉具視らの反対で廃案となった。



図10 板垣退助

● 政府批判の封殺

1875年、⁽²⁷⁾ _____・⁽²⁸⁾ _____ 制定

…政府批判の抑止を目的に、政府を誹謗する発言や批判の新聞掲載を禁じる法規

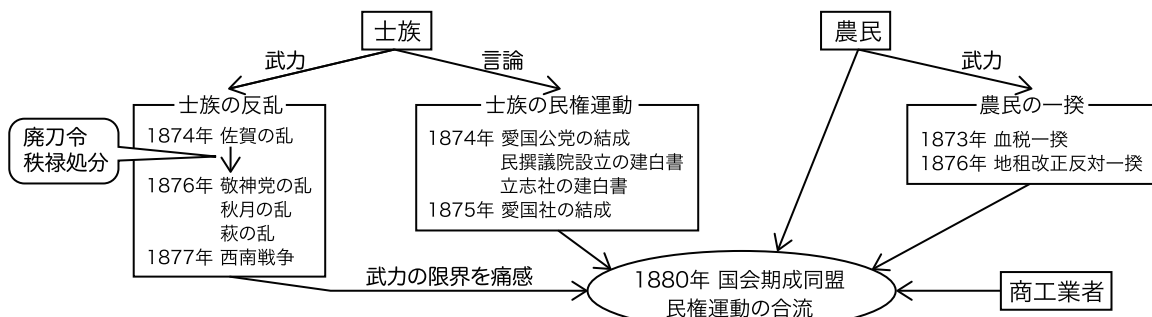


図8 自由民権運動の合流